

2026年度JACセミナー(臨時開催)



一般社団法人情報マネジメントシステム 認定センター(ISMS-AC)からの情報提供

2026年6月12日

一般社団法人情報マネジメントシステム認定センター(ISMS-AC)

ISMS-ACの概要

一般社団法人情報マネジメントシステム認定センター(略称:ISMS-AC)

(<https://isms.jp/>)



- 設立年月日:2018年4月2日
- 所在地:東京都港区六本木一丁目9番9号 六本木ファーストビル内
- 代表理事:山内 徹
- 目的及び事業
 - ・ マネジメントシステムの認証機関の認定
 - ・ 国際レベルの認定機関間の相互承認

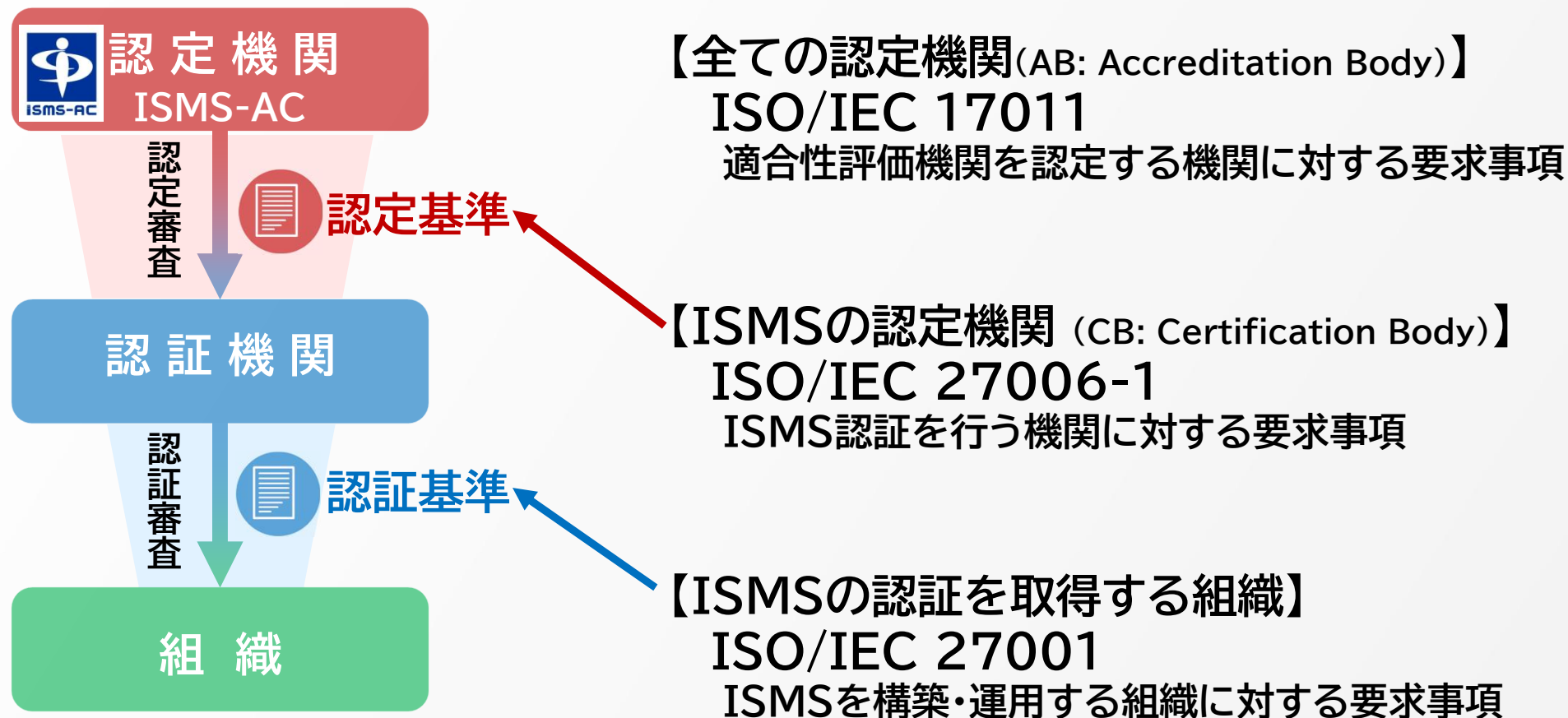


ISMS-ACのあゆみ

- 2002年 一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)として、
ISMS適合性評価制度の正式運用開始
- 2006年 アジア太平洋地域の認定機関の連盟(現APAC)に加盟
- 2007年 全世界の認定機関のフォーラムであるIAF(現Global ACI)に加盟
- 2018年 認定機関としての独立性、公平性をより確実にするためJIPDECから分離
一般社団法人情報マネジメントシステム認定センター として法人化
ISMS-ACがISMSに関するIAF MLA/APAC MRAに署名

適合性評価制度における認定と認証

(ISMS適合性評価制度の例)



ISMS-ACの認定スキーム

開始年	スキーム	認証基準	認定基準
2002	ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)	ISO/IEC 27001	JIP-ISAC100 (ISO/IEC 27006-1)
2006	ITSMS(ITサービスマネジメントシステム)	ISO/IEC 20000-1	JIP-ITAC100 (ISO/IEC 20000-6)
2008	要員認証	—	JIP-IMAC300 (ISO/IEC 17024)
2009	BCMS(事業継続マネジメントシステム)	ISO 22301	JIP-BCAC100 (ISO/IEC TS 17021-6)
2016	ISMSクラウドセキュリティ認証	JIP-ISMS517 (ISO/IEC 27017ベース)	JIP-ISAC101 (JIP-ISAC100+ α)
2020	ISMS-PIMS認証	ISO/IEC 27701	JIP-ISAC102 (ISO/IEC TS 27006-2)
2025	AIMS(AIマネジメントシステム)	ISO/IEC 42001	JIP-AIAC100 (ISO/IEC 42006)
2026	PIMS(プライバシー情報マネジメントシステム)	ISO/IEC 27701	JIP-PIAC100 (ISO/IEC 27706)

ISMS-AC認定の認証機関の一覧(1/2)

現在ISMS-ACが認定している認証機関は27機関。

(認定番号順)

認証機関(略称)		ISMS	ISMS-CLS	ISMS-PIMS	ITSMS	BCMS	AIMS
1	一般財団法人 日本品質保証機構 マネジメントシステム部門(JQA)	○	○	○	○	○	
2	日本検査キューエイ株式会社(JICQA)	○	○				
3	BSIグループジャパン株式会社(BSI-J)	○	○	○		○	
4	一般財団法人日本科学技術連盟 ISO審査登録センター(JUSE-ISO Center)	○	○	○	○		
5	日本規格協会ソリューションズ株式会社 審査登録事業部(JSA-SOL)	○	○				
6	株式会社日本環境認証機構(JACO)	○	○	○	○	○	
7	DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社(DNV)	○					
8	国際マネジメントシステム認証機構株式会社(ICMS)	○	○				
9	一般社団法人日本能率協会 審査登録センター(JMAQA)	○	○				
10	ペリージョンソン ホールディング 株式会社 ペリージョンソン レジストラー(PJRJ)	○	○				
11	一般財団法人電気通信端末機器審査協会 ISMS審査登録センター(JATE)	○	○				
12	テュフ ラインランド ジャパン 株式会社(TUV RJ)	○	○				○
13	株式会社マネジメントシステム評価センター(MSA)	○	○	○			
14	株式会社 ジェイヴァック (J-VAC)	○					

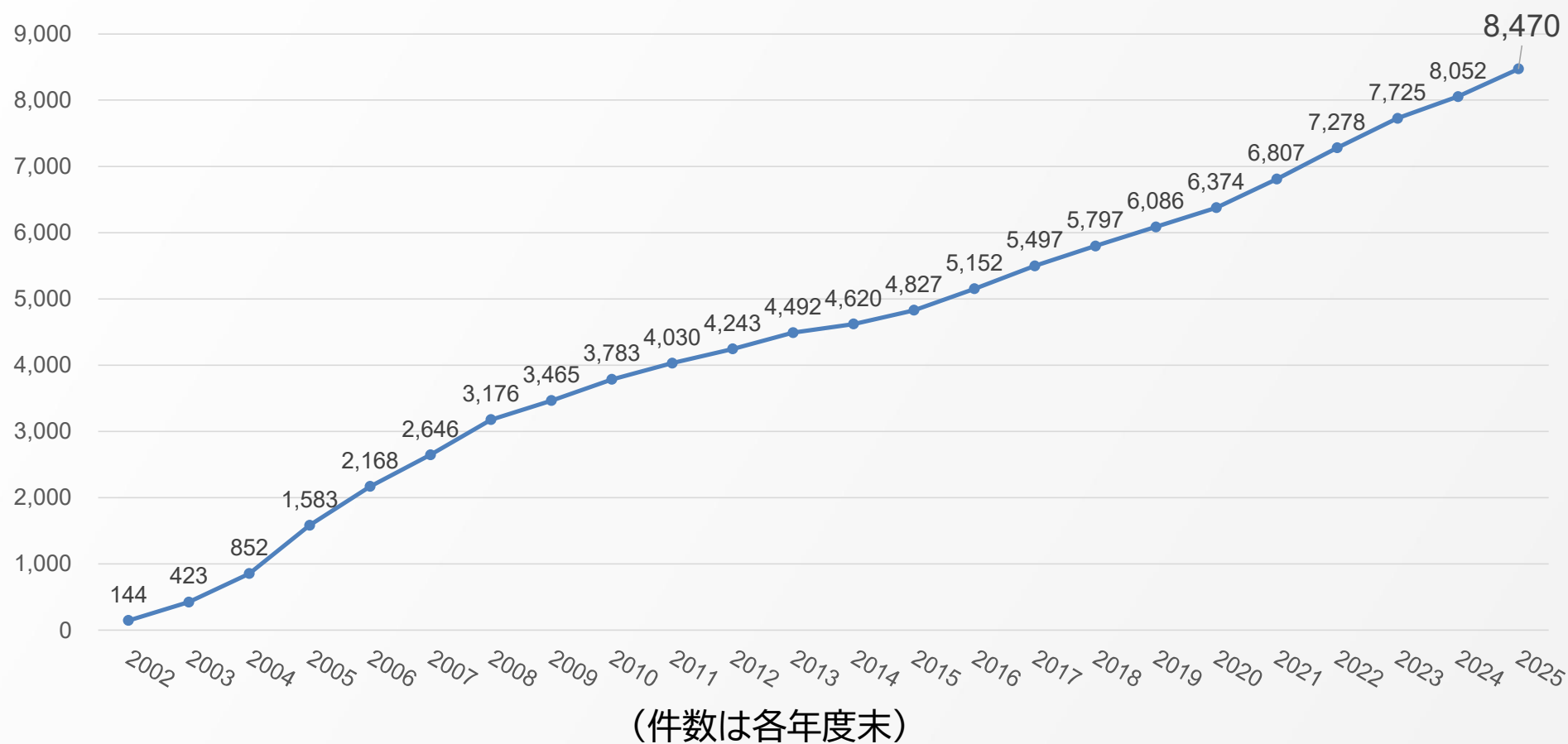
ISMS-AC認定の認証機関の一覧(2/2)

現在ISMS-ACが認定している認証機関は27機関。

(認定番号順)

認証機関(略称)		ISMS	ISMS-CLS	ISMS-PIMS	ITSMS	BCMS	AIMS
15	ビューローベリタスジャパン株式会社 システム認証事業本部(BVサーティフィケーション)	○	○			○	
16	公益財団法人 防衛基盤整備協会 システム審査センター (BSK)	○					
17	SGSジャパン株式会社(SGS)	○	○			○	○
18	一般財団法人ベターリビング システム審査登録センター(BL-QE)	○	○	○			
19	日本海事検定キューエイ株式会社 (NKKKQA)	○					
20	国際システム審査株式会社(ISA)	○	○				
21	エイエスアール株式会社 (ASR)	○					
22	日本化学キューエイ株式会社 (JCQA)	○					
23	ドイツ品質システム認証株式会社 (DQS Japan Inc.)	○					
24	一般財団法人 電気安全環境研究所 ISO登録センター(JET)	○					
25	アイエムジェー審査登録センター株式会社(IMJ)	○	○	○			
26	アームスタンダード株式会社 (ARMS)	○					
27	ISサーティフィケーション株式会社 (ISC)	○	○				

(参考)ISMS-AC認定下のISMS認証組織数



AIマネジメントシステムの標準化及び適合性評価

2017年	ISO/IEC JTC 1/SC42(AI専門委員会)設立
2023年12月18日	<u>ISO/IEC 42001(AIマネジメントシステム)発行</u>
2024年1月	経済産業省がISO/IEC 42001発行を発表
2025年7月7日	ISO/IEC 42006 (AIマネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項)の発行 → <u>翌日(7月8日)、ISMS-ACによる認定開始</u>
2025年8月	ISO/IEC 42001の国内規格として、 <u>JIS Q 42001:2025 発行</u>
2026年1月14日	ISMS-ACが国内の2つの認証機関に対して初のAIMS認定

AIマネジメントシステム(AIMS)とは

- 品質、環境、情報セキュリティと同じマネジメントシステム
- 対象は、AIシステムの開発者、提供者及び利用者
- PDCAサイクルで継続的に改善
- 規格本文：範囲→責任→計画→支援→運用→評価→改善
- 附属書A：AIリスクに対処するための10の管理目的と38の管理策

アジア太平洋認定機関協力機構(APAC)の取組

- 2024年7月にアラブ首長国連邦(UAE)で開催されたAPACのMRA諮問会議において、以下の内容が合意された

APACのMRAのスコープに、
ISO/IEC 42001に基づくAIMS認証に対する認定を追加する

- APACに加盟する認定機関が認定した認証機関によるAIMSの認証の国際的な同等性が担保する



日本としても、国内の認証機関によるAIMS認証を普及させるとともに、
APAC AIMS MRAへの署名のため準備に早急に着手

ISMS-ACは、デジタル社会における
適合性評価の基盤として活動して参ります



一般社団法人情報マネジメントシステム認定センター
(法人番号:9010405016615)

ご参考

ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)

認証基準: JIS Q 27001(ISO/IEC 27001)

- 情報セキュリティ観点から見た組織運営の仕組み
- 保護するものは、組織の所有している「資産」
- 資産価値及びリスクに応じた対策を実施

- ISMSを構築するメリット
 - ・ 社員の意識の向上や保護すべき資産の明確化
 - ・ 保護すべき資産の保護方法の明確化
 - ・ 社内のセキュリティ体制の強化
- ISMS認証を取得するメリット
 - ・ 情報セキュリティの信頼性の確保
 - ・ 事業競争力の強化(入札条件)

ISMS認証の拡張 – ISMSクラウドセキュリティ認証 –

認証基準:ISO/IEC 27017:2015に基づくISMSクラウドセキュリティ認証に関する要求事項(JIP-ISMS517-1.0)

- ISMS認証を取得している／取得する予定の組織(クラウドサービスプロバイダ・カスタマ)が対象
- ISO/IEC 27017規定のクラウドサービス固有の管理策が追加で実施されていることを確認、認証
- 認証を取得するメリット
 - ・ クラウドサービスに対する情報セキュリティの対外的な信頼性の確保

ISMS認証の拡張 – ISMS-PIMS認証 –

認証基準 : ISO/IEC 27701:2019

- ISMS認証を取得している／取得する予定の組織（PII管理者／PII処理者）が対象
- ISO/IEC 22701規定のプライバシー固有の要求事項と固有の管理策が追加で実施されていることを確認、認証
- 認証を取得するメリット
 - PII管理・処理に対する情報セキュリティの対外的な信頼性の確保

ITSMS(ITサービスマネジメントシステム)

認証基準 : JIS Q 20000-1(ISO/IEC 20000-1)

- 顧客の要件に適合したレベルのITサービスの運用管理を実施し、そのサービス品質を継続的に改善するための仕組み
- ITSMSを構築するメリット
 - ・ ITサービスの品質及び顧客満足度の向上
 - ・ 内部統制(ITの全般統制)対応の一助
- ITSMS認証を取得するメリット
 - ・ ITサービスの信頼性の確保
 - ・ 事業競争力の強化（入札条件）

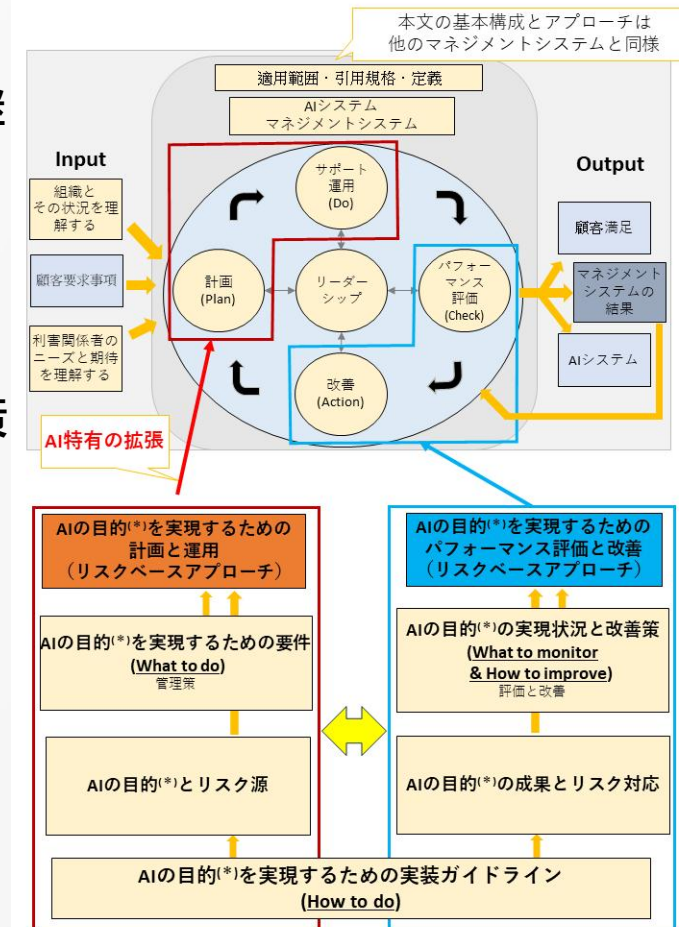
BCMS(事業継続マネジメントシステム)

認証基準 : JIS Q 22301(ISO 22301)

- 組織にとって重要な業務・サービスが停止したときの影響を最小限に抑え、いかに事業を継続するかという視点で「組織の現状を理解」し、「事業継続計画(BCP)を策定」して「演習により評価」し、システムを運用する仕組み
- BCMSを構築及び認証を取得するメリット
 - 事業継続を脅かす事態に対しても、事業そのものを中断することのない組織のレジリエンシー（しなやかな回復力）を高めることができる。
 - 組織自らの企業価値の向上や社会的責任を対外的にアピールすることができる。

ISO/IEC 42001 AIマネジメントシステムの概要

- 組織が構築するAIに係るマネジメントシステムの要求事項
 - ・ PDCAサイクルに基づくマネジメントシステムの確立、実装、維持及び継続的な改善に関する要求事項を記載
- ISMS認証基準であるISO/IEC 27001をベースとした構成
 - ・ AIシステムの設計及び運用に関連するリスク(AIリスク)を特定し、その評価・対策を行う(リスクマネジメント)のアプローチ
- 特定されたリスクに対処するための10の管理目的と38の管理策
 - ・ データガバナンス、ライフサイクル管理、モデル監査性など
- AIシステムに対する組織の役割
 - ・ AI producer(AIプロデューサー)
AIシステムを使用する製品又はサービスを設計、開発、テスト及び展開する組織
 - ・ AI provider(AI提供者)
AIシステムを使用する製品又はサービスを提供する組織
 - ・ AI customer(AI顧客)
AI提供者が提供するAIの製品又はサービスを使用する組織
 - ・ 上記の組み合わせ



* AIの目的：組織が開発・提供・使用するAIで達成したいこと

出典) <https://www.meti.go.jp/press/2023/01/20240115001/20240115001.html>

AIMS適合性評価制度における認定と認証

